

しょう せき のう ほう しょう

掌蹠膿疱症について

監修：愛媛大学大学院医学系研究科 分子機能領域皮膚科学 特任教授
村上 正基先生



掌蹠膿疱症とは

掌蹠膿疱症は、手のひらや足の裏の皮膚に多数のうみを持った小さな水ぶくれ(膿疱のうほうといいます)が繰り返しできる皮膚炎です。膿疱が消えても、しばらく経つと再びあらわれるという慢性の経過をたどります。膿疱のなかは無菌なので、うみや皮膚に直接接触しても、他の人に感染することはありません。

また、手のひらや足の裏以外に膿疱ができたり、爪の形が変わったり、胸部やあばら骨(肋骨)、関節に痛みが出ることもあります。

掌蹠膿疱症がどのようにして起こるかについては良く分かっていませんが、扁桃炎・歯周炎・副鼻腔炎といった慢性の炎症や喫煙習慣が関係しているといわれています*1。

治療には長い期間かかる場合がある一方でお薬が要らなくなる場合もありますので、主治医の先生に相談しながら治療に取り組みましょう。

● 掌蹠膿疱症の疫学*2

掌蹠膿疱症の患者さんの数は、日本では約 13.6 万人と推測されています。女性の割合が高く(男:女=1:2)、年齢が 30~50代に多く見られます。

また、喫煙者が多いことも特徴となっています。



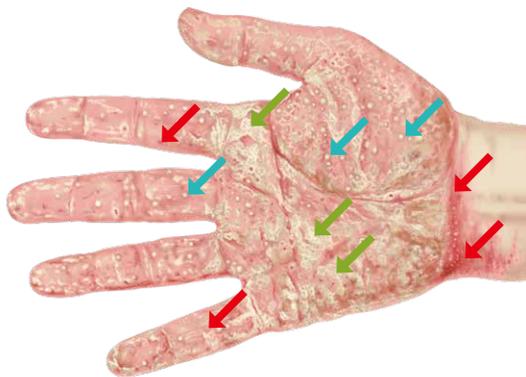
*1 日本皮膚科学会編．掌蹠膿疱症診療の手引き 2022．日皮会誌．2022；132(9)：2055-2113．

*2 Kubota K, et al. BMJ Open. 2015; 5(1): e006450.

掌蹠膿疱症の症状

●手のひら、足の裏の症状

最初は、手のひらや足の裏に小さな水疱ができ、やがて水疱に濁りが出てうみの溜まった膿疱が多数できます。これらは、消えてもまたあらわれることを繰り返します。慢性化すると、炎症を起こして赤い斑点があらわれる（紅斑）、膿疱の乾いた痕がカサカサになる（鱗屑）などの症状も出てきます。かゆみや痛みを伴う場合もあります。



膿疱：膿（白～黄）が溜まった小さなブツブツ
紅斑：皮膚が炎症を起こして赤くなる
鱗屑：白色のフケのようなもの。
（落屑：ポロポロとはがれおちたもの）

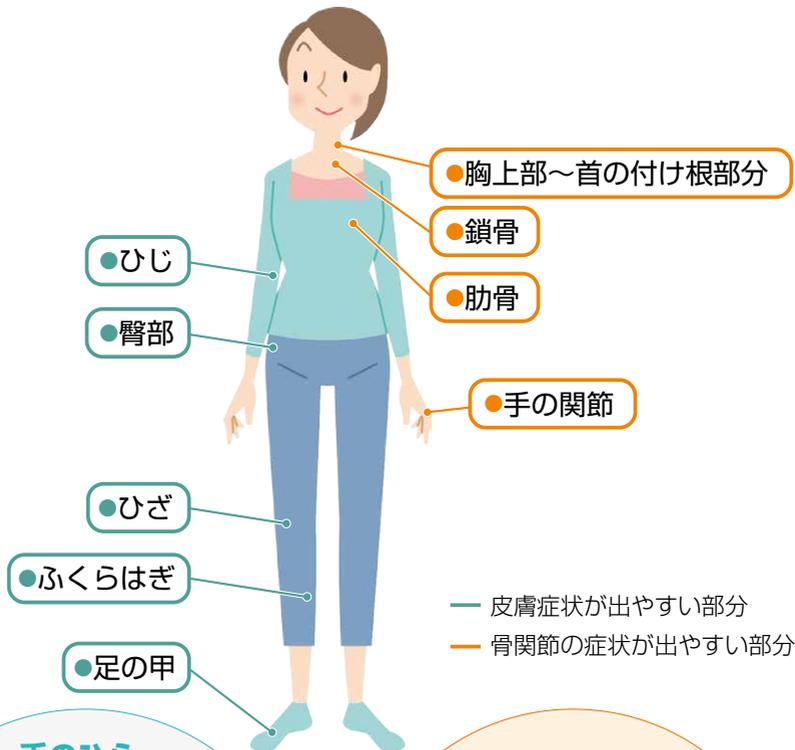


かゆみ、痛み

●爪の症状

手足の爪が変形したり変色したりすることも稀にあります。

●手のひら、足の裏以外の症状



**手のひら、
足の裏以外の
皮膚の症状**

足の甲、ひざ、ふくらはぎ、臀部、ひじなどに、小膿疱や、赤い斑点、皮膚がぼろぼろはがれたりする症状が出ることもあります。

骨関節の症状

鎖骨と胸上部～首の付け根部分の骨や関節に痛みや腫れが出ることがあります。その他の骨関節や関節の周りに痛みと炎症が起こることもあります。

掌蹠膿疱症の皮膚症状と骨関節の症状の発症タイミングはさまざまで、同時に出る場合もあれば、どちらかが先に出る場合もあります。

また、かぜや扁桃炎などをきっかけとして、皮疹や骨関節の症状があらわれたりひどくなることもあります*。

* 日本皮膚科学会編、掌蹠膿疱症診療の手引き 2022. 日皮会誌. 2022; 132(9): 2055-2113.

掌蹠膿疱症の診断

掌蹠膿疱症は、さまざまな方法を用いて診断を行います。

●問診、視診

患者さんの症状や、既往歴を調べるために問診を行います。

皮膚の状態を調べるために視診を行います。その際に、拡大鏡などを用いて水疱や膿疱を詳しく観察することもあります。

●掌蹠膿疱症診断のための主な検査

真菌検査	鱗屑や膿疱の中に真菌が存在するか調べます。
皮膚生検	皮膚組織を採取して、病理組織像から、ほかの皮膚の病気との区別を判定します。
オルソパントモグラフィー	歯周病や歯の根っこに膿がないか確認します。
血液検査	感染症や、ほかの病気の有無を調べます。
画像検査 (X線、MRI)	骨関節の症状がある場合に、骨や関節の状態を調べます。

必要に応じて、金属アレルギーの検査のためにパッチテストを行うことがあります。



オルソパントモグラフィー



MRI

検査の結果、掌蹠膿疱症であることがわかったら、治療を開始します。

●悪化因子を取り除く

- 鼻・口・のどの部分にある無症状か軽微な、またはときどき繰り返して症状が出るような感染性の病巣が、掌蹠膿疱症の発症や悪化に関わっているといわれており、そうした病巣感染を取り除くと手のひらや足の裏の症状が良くなることがあります*。
- 自覚症状がない場合も、まず歯科や耳鼻咽喉科で病巣感染があるかを調べ、病巣感染がある場合は治療を行います。歯科や耳鼻咽喉科での検査は、掌蹠膿疱症の症状をやわらげる上で非常に重要です。
- 歯や歯周の病巣は自覚のないことも多いので、歯科に通院いただきながら、病巣の検索や、虫歯や歯周病の治療にあたります。
- 副鼻腔炎、のどや耳の炎症については、耳鼻咽喉科で病巣の検索・治療にあたります。
- 病巣の治療後に一時的に皮膚症状が悪化することもあります。不安を抱え込まず主治医に相談しましょう。



●症状をやわらげる

- 外用療法（塗り薬）
- 紫外線療法
- 内服療法（飲み薬）
- 生物学的製剤（注射薬）

などで治療します。

患者さんの症状やご自身が目指したい治療ゴール、ライフスタイルなども考慮して治療方針が決められます。治療の進め方や使用するお薬などについて希望がある場合は主治医とよく相談しましょう。



* 日本皮膚科学会編．掌蹠膿疱症診療の手引き 2022．日皮会誌．2022；132(9)：2055-2113．

●禁煙

- 掌蹠膿疱症の発症には喫煙が強く関連することがわかっており、禁煙で症状が軽くなったり治療効果が出やすくなるといわれています*。



- 喫煙している方はぜひ禁煙しましょう。禁煙外来を受診するのも良い方法です。

●口腔ケア

- 掌蹠膿疱症と口の中の炎症が関わっていることがあります*。そのため、丁寧な歯磨きの習慣づけなど、口の中を清潔にすることを心がけましょう。
- 歯周病などの予防や口腔衛生のため、定期的な歯科受診について医師に相談しましょう。



●耳のケア

- 掌蹠膿疱症では、耳に症状が出る場合もあるので、耳鼻科の受診を医師に相談しましょう。耳掃除を耳鼻科へお願いするのも良いでしょう。



●健康的な生活をおくる

- よく睡眠をとり心身にストレスをため込まないようにしましょう。
- 規則正しい食事や適度な運動で生活リズムを整えましょう。



●通院

- 定期的に通院し、体調の変化があった場合はすぐに医師に伝えましょう。
- 他の病院や診療科にかかるときは、必ずその科の医師に掌蹠膿疱症の治療を受けていることをお話してください。



* 日本皮膚科学会編・掌蹠膿疱症診療の手引き 2022. 日皮会誌. 2022; 132(9): 2055-2113.

病医院

担当医